

祝辞（北条小学校卒業式）

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

期待と不安いっぱい、入学されてから早6年がたちました。先生や友達と勉強や運動をして、これまでにたくさんの経験をされ、みなさんは、身体だけでなく、こころも立派に成長されたと思います。大変、うれしく思います。

さて、新型コロナウイルス感染症により、この卒業式もそうですが、多くの行事が中止や縮小となったり、学習スタイルも変わったり、いろいろなことが思い通りにならなかったりで、我慢する場面が多かったと思います。反面、限られた環境の中で何ができるかという経験もされてきました。忍耐力と工夫する力もついたと思います。

また、このように困難な時にも、まとまりが良く、困った友達を助け合うことができるそんな素晴らしい児童だったと聞いています。

4月からは、中学生です。勉強や運動などレベルもどんどん上がってきます。そんな時、思うようにいかないこともあるかもしれません。

先ほど、みなさんは、将来の夢について、この壇上で発表されました。その夢をかなえるためにもわたしから、アドバイスです。

ひたすら努力しましょう。

「才能は有限、努力は無限」という言葉があります。これは、昨年、「日本人選手が勝つことは無理だろう」といわれていたマスターズ・トーナメントで、日本人選手として初めて、優勝したプロゴルファーの松山英樹選手が毎日、その言葉をみて、練習していたそうです。自分の限界を決めずに、自分の目標に向かって、地味な反復練習でも毎日、毎日、繰り返し、続けられたそうです。また、元プロ野球選手のイチロー氏は、「夢を掴むことというのは一気にはできません。小さなことを積み重ねることです。いつの日か信じられないような力を出せるようになってきます。」と当たり前の繰り返しや努力の連続が大切であることを言っています。

また、中学生になれば、「町長と語る会」があります。またその時にあってお話しできることを楽しみにしています。

保護者の皆様におかれましては、今日までいろいろなご苦勞があったかと思います。また、この度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、臨時休校し、大変なご負担とご心配をおかけいたしました。しかしながら、このように立派に成長された姿を前に感慨もひとしおのことと心よりお喜び申し上げます。中学生となれば、これまで以上に楽しみも多い反面、心を悩ませることも多々あるかと思いますが、しっかり向き合

って、家族として・人生の良き先輩として、アドバイスをいただきますよう、よろしく
お願いします。

これまで熱心にご指導いただきました先生方、並びに関係各位に対し、敬意と感謝
の意を表しますとともに、どうかこれからもあたたかく見守っていただければと思い
ます。

おわりに、卒業生のみなさんの健やかな成長を願うとともに前途を祝し、お祝いの
あいさついたします。

令和4年3月18日
北栄町長 手嶋俊樹